

# 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立林野高等学校		
実践者等	寺岡 実咲	実践日	令和3年4月28日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	古典B		
対象生徒(学年等)	普通科 2年次生		
单元名 (教科・科目の場合のみ)	『沙石集』「兼盛と忠見」		
使用したアプリ等	Jamboard、スライド		
実践の概要(ねらい等)	「兼盛と忠見」に出てくる歌合について、和歌の評価を体験し、当時の判者がどのような基準で判断を下したか考える。		

## 実践の内容

### (1) 事前学習

馴染みのない歌合について、スライドを用いて基本事項を確認。

### (2) 本文読解

本文でどのように歌合の勝敗が決したか、現代語訳を通して考えさせる。

### (3) 活動(実際にあった歌合を、自分たちで判定し、判定の理由を発表する)

Jamboard を活用し、グループで歌合の題と左右の和歌を割り振り、和歌の技法や詠を調べさせる。付箋の色を分け(赤:和歌の良い評価 青:和歌の良くない評価 黄:調べたこと)、貼り付け、グループで左右どちらの和歌を勝たせたかを発表させる。

#### 歌合わせとは?

歌=和歌のこと



和歌の作者を左右に分け、詠んだ歌を組み合わせ、判者(はんじゃ)が批評。

優劣を比較して勝負を判定した文学的遊戯。

平安初期以来宮廷や貴族の間で流行した。

【日本国語大辞典より】

#### 取り組み方

- ・担当の和歌のGood/Badポイントを1, 2個出す(それぞれ1つずつまたは片方を2つ)
- ・その際、表現や技法について調べる
- ・判定結果を出し、なぜその判定にしたか発表する
- ・判定については、3つのポイントを重視すること

Good (ピンク) Bad (水色) 調べたこと (黄色) 判定結果はテキストボックスで

Good Bad 調査 右勝・左勝 持のうち、どれか書く ※なるべく 持はなしで

Good!	左	右	Good!	お題
<p>「(おま) 渡す 雲に深くほどく 思ひをいたいで 登る</p> <p>(おもひ ね) 恋しい 人を思ひな がら寝る</p> <p>「うさね) の うさぎ、さよなら いうさげの 葉を、さげ ているのではな いか</p> <p>右の句と左の句とを比較して 水関係でまこと 明らかでない</p>	<p>夢に出てくる ほどその 人のことを 想っている</p> <p>さむればもとの 浮きねなり けり</p> <p>みなと川</p>	<p>好きなら、泳ぎ屋の 夢に見た、津川、目が 覚めた私の袂は雲に 巻かれて、弟の人の 影が 残っている。</p> <p>さむる 袂に のこる おも 影</p> <p>おもふ人を うさぎの 夢に</p> <p>みなと川</p>	<p>思い出した ときに涙が 出さぬくらい 好き</p> <p>涙・水など の水関係で まどめてい る</p> <p>さむる袂に 残る夢と いう意味が 残っている (夢で寝た) が、あの人の 影を 残 しているという 意味が 残 っている</p> <p>Bad...</p> <p>みなと川は川 流がながれ ているので わかりにくい。 袂で寝た ことを 表現して いる</p>	<p>旅泊 恋</p> <p>4班</p> <p>(袖) 和服の袖の下の袋状のところ</p> <p>(夢) さむる 袂に 残る 夢と いう 意味が 残 っている</p> <p>みなと川は 川 流が ながれ ているので わかりにくい。 袂で寝た ことを 表現して いる</p>
判定				
右勝				

### 実践者の振り返り等

- ・自分で調べることで、掛詞の使い方や縁語などの言葉の使い方に気づいたり着目して訳をしたりする生徒が増えた。
- ・発表後に実際の歌合の結果を解説したことで、自分の和歌の読み取りに自信を持つ生徒もいた。

### 参考となるHP等